



ラップス

PJ・コート プロテクションセット

頭部・水晶体・頸部・ボディの トータル被曝防止

長期的な低線量被曝による放射線の影響を最小限に抑えるためには、頭部、水晶体、頸部、およびボディ全体の被曝防止を考慮する必要があります。これには、放射線を使用する部位に応じた防護具の適切な選定と使用が求められます。特に水晶体や甲状腺は非常に敏感であり、局所的な被曝を避けるための防護が重要です。

フルコートプロテクター

届出番号 40B2X10001000071

- 鉛当量: 0.25mmPb [ビスマス・アンチモン製]

アイPグラス EX

届出番号: 40B2X10001000091

- 鉛当量: 0.07mmPb [アクリル鉛製]

ネックガード

届出番号: 40B2X10001000072

- 鉛当量: 0.5mmPb [ビスマス・アンチモン製]

キヤップ

届出番号: 40B2X10001000074

- 鉛当量: 0.5mmPb [ビスマス・アンチモン製]



フルコートプロテクター ¥185,000

Bilayer X線防護素材

- Bilayerの素材構造

Sb アンチモン製の薄い板

Bi ビスマス製の薄い板

Bilayerでは2種の物質からなる層を一体化している

ラップスセレクション



ラップス I
¥200,000



ラップス II
¥220,000



ラップス III
¥240,000

高機能な外生地

カラーバリエーション

101C
Black

104C
Silver Green

102C
Dark Blue

105C
Dark Green

103C
Red

106C
Blue

着心地を追求した内生地

吸湿・速乾・制菌素材
スプリジー®を採用

吸湿

速乾

制菌

接触
冷感

※価格はメーカー希望小売価格(税別)

放射線防護用具の重要性

近年、X線透視装置を用いた手技の増加に伴い、医療従事者の被曝量が急激に増加しています。強いX線被曝を防ぐために、高鉛当量の防護衣が基本的ですが、低線量X線による体内への蓄積も防ぐことが重要です。

○新素材ビーレイヤー「Bilayer」の革新性

従来の鉛を使用した防護衣に比べ、ボロン、鉛、タンゲステン、レアメタルなどの新素材は軽量化と高い防護性能を持つ一方、低線量領域では鉛に比べ約20%防護能力が低下することが課題となっていました。

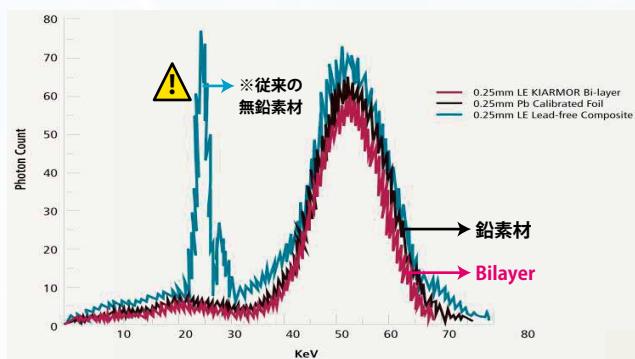
これに対して、新素材「Bilayer」は、アンチモンとビスマスを使用し、従来の鉛製品よりも20%、無鉛素材よりも40%高い性能を発揮します。この新素材は、**低線量放射線**から皮膚や臓器を守り、被曝線量を大幅に減少させる効果的なプロテクターとして活用されています。

○医療従事者の被曝リスク

インターベンショナル放射線(IVR)を扱う医療従事者は、低線量放射線に曝露されることで、特に頭部において、染色体異常や慢性リンパ性白血病のリスクが高まります。X線透視を使用する医療従事者は、職業的な被曝によって発がんリスクが高くなることが示唆されています。このため、適切な防護対策が非常に重要です。

低線量の放射線は、人体に対する影響が蓄積的であり、それにより体に重大な悪影響を与える可能性があるため、防護衣の選定では**低線量放射線**に対する防護能力が重要です。

※従来の無鉛素材では20~40KeV域の低線量の防護ができないことがあります。Bilayerは低線量で安定した防護力があり40~70KeV域においても鉛素材より高い防護力を示しています。



○Bilayerキャップと防護グラス

Bilayer素材のキャップは、複数層の構造で効果的に放射線を遮断し、頭部を保護します。頭部だけでなく全身の防護も重要であり、医療従事者の被曝リスクを低減します。

さらに、私たちの目は低線量のX線に非常に敏感で、白内障が誘発されることがあります。これを防ぐためには、アクリル鉛レンズを使用した軽量で実用的な防護グラスの着用が推奨されます。



Healthy Eye



X-ray induced Cataract



J-キャップ

Bilayer製 (0.5mmPb)



J-ネックガード

Bilayer製 (0.5mmPb)



アイPグラス EX

アクリル鉛製 46g (0.07mmPb)

製造・販売

PADL 株式会社パドル

〒810-0029 福岡市中央区平尾浄水町8番6-102
TEL 092-523-5353 FAX 092-526-0122

<https://padl.jp/home/>